



2025 年 1 2 月 1 8 日

日本鉄道労働組合連合会

## J R グループ 労 組 連 絡 会

## 第 2 2 回 分 科 会 プ ロ ジ ェ ク ト

J R グループ 労 組 連 絡 会 は 12 月 10 日、大阪市内で「第 2 2 回 分 科 会 プ ロ ジ ェ ク ト」を開催し、2026 春 季 生 活 闘 争 方 針 の 策 定 向 け て 議 論 し た。

主催者を代表してあいさつした海上弓彦代表幹事（J R 西 日 本 連 合 ・ ジ ェ イ ア ー ル 西 日 本 伊 勢 丹 労 組）は、「2026 春 闘 は、高 ま っ た 賃 上 げ 機 運 を 単 な る 一 時 的 な ト レ ン ド で 終 わ ら せ ず、今 後 の 継 続 的 ・ 構 造 的 な 賃 上 げ へ と 定 着 さ せ る た め の 「分 水 嶺」 と 認 識 し、J R グループ 全 体 に 「賃 上 げ ム ー ド」 を 継 続 的 に 波 及 ・ 拡 大 さ せ、す べ て の 働 く 者 の 生 活 向 上 を 実 現 し よ う」と 呼 び か け た。



海上代表幹事

基調提起では、住吉一家事務局長（J R 連 合 ・ 労 働 政 策 局 長）が、直近の社会情勢を共有するとともに、賃金実態調査結果を解説したほか、「ONE TEAMで 今年も 賃上げ！」のスローガンのもと、連合や交運労協の方針を軸に具体的な要求を掲げるなどとする2026 春 季 生 活 闘 争 の 素 案 を 提 起 し た。

## 方 針 の 策 定 向 け て、分 科 会 で 活 発 な 議 論 を 展 開

業種別に分かれて議論した分科会別討議では、闘争方針（素案）の是非や闘争方針（素案）を肉付けする議論が展開された。各分科会からの報告では、J R 連 合 の 闘 争 方 針 （素 案）に対して一定の理解が示されたが、要求実現に向けて、「人財確保・定着の取り組み」「総合生活改善・福利厚生制度の充実」「価格転嫁・適正取引の推進による賃上げ出来る環境の整備」など、様々な課題も報告された。



J R 連 合 は、引 き 続 き 議 論 を 深 め、1 月 28 日 に 開 催 す る 第 38 回 中 央 委 員 会 で 2026 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 決 定 す る こ と と し て い る。